

平成22年 死亡災害発生の概要 (製造業)

平成22年12月31日
大阪労働局 労働基準部 安全課

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経験	事故の型	起因物	発生状況
1	1月	製鉄・製鋼・ 圧延業 (011001)	男	19	金属熱処 理工	1ヶ月	飛来、落下	フォーク リフト	コイル形状の鋼線材を焼鈍する行程において、外側に膨らんだコイル材を炉内に納まる寸法に整形するため、当該コイル材を圧縮機で加圧し、さらに上方からフォークリフトのラム（円柱状のアタッチメント）に目通しした別のコイル材（重量約1.8t）を上下させて外側に膨らんだ線材を絞めていたところ、コイル材がフォークのラムから外れ、付近で研修を受けていた被災者の上に落下した。
2	2月	印刷業(010701)	男	34	印刷工	10年	その他	起因物なし	ゴルフ接待中に、めまい・気分不良・頭痛等の症状を認め、プレーせずに休憩をしていた。同席していた同業者に車で自宅まで送ってもらったが、自宅に到着したところで、けいれんを起こし病院内でなくなった。
3	4月	機械器具 製造業 (011301)	男	21	作業員	3年	はさま れ、巻き 込まれ	その他の 金属加工 用機械	金属の2次成形加工用機械のメーカーにおいて、製品であるテンションリール（コイル状の金属板を緊張させながら引っ張り、巻き取る装置）の試運転中、コイル状の金属板を巻き取っていたところ、送り出し装置が引っ張り方向に水平に動いたため、送り出し装置とその手前の製品との間にいた被災者が挟まれた。
4	6月	製鉄・製鋼・ 圧延業 (011001)	男	45	作業員	1年	はさま れ、巻き 込まれ	ロール機	鋼製の丸棒（主に建材用）の製造工程における圧延ロール機の調整作業を行った後、当該ロール機の試運転を行ったところ、被災者が回転部分に巻き込まれたもの。
5	8月	その他の金属 製品製造業 (011209)	男	53	金属製品 製造工	25年	感電	研削盤、パ フ盤	被災者はグラインダーを使用し、金属製品（油圧プレス のタンク）の研磨作業を行っていたが、午前11時40分頃に当該金属製品の側で倒れているところを同僚に見えられた。死因は感電によるもので、被災者の左胸及び左脇の下に火傷痕があった。
6	8月	その他の金属 製品製造業 (011209)	男	36	技術者	12年	墜落、転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	工場のスレート屋根に設置されていた換気用ファン用のモーター取替作業を行っていた被災者が、スレート屋根を踏み抜き、7.8メートル下の地上に墜落し死亡した。
7	10月	金属プレス製品 製造業 (011203)	男	40	板金工	12年	はさま れ、巻き 込まれ	フォーク リフト	被災者は、リーチフォークリフト（最大積載荷重1.8トン）を用いて垂鉛鉄板を梱包した荷（重さ2トン）を運搬していたが、リフトの後輪にうつ伏せで下敷きとなっている状態で発見された。発見時、荷はバラバラになっており、フォークの先端が地面に突き刺さった後があり、リフトが前のめりになった後、元に戻ったことが推測された。
8	12月	その他の金属製 品製造業 (011209)	男	57	その他の 金属加工	31年	激突され	クレーン	被災者は工場内において、天井クレーンで塗装作業用の作業台を吊っていた。作業台を所定の位置に設置した後、作業台のバランスが崩れ、作業台が被災者に激突し、被災した。
9	12月	その他の鉄鋼業 (011009)	男	31	その他の 製造工	6ヶ月	墜落、転落	開口部	災害発生当日、酸洗い作業場に設置されたテルハに走行オーバータイムのエラーが発生したため、酸洗い作業場4階で集電子を交換し自動運転を再開した。その後、テルハのレールの間の開口部（1.4m）から約5m下のボンデ槽（内容物：リン酸亜鉛溶液、85℃）に墜落した。
10	12月	その他の金属製 品製造業 (011209)	男	39	金属加 工・金属 製品検査 工	6年	はさま れ、巻き 込まれ	フォーク リフト	鍛造プレス（1000t）の上部を清掃するため、フォークリフトのアタッチメントの上に乗し、アタッチメントを上昇中、フォークリフトが前進し、テルハのフレーム（Iビーム）とフォークリフトのバックレストとの間に腰部が挟まれた。
11	12月	無機・有機化学 工業製品製造業 製品製造業 (010801)	男	37	研究員	9年	有害物等 との接触	有害物	化学物質の合成実験を行っていた被災者が合成された3-クロロ-1,1,2,3,3-ペンタフルオロ-1-プロペンの蒸気に暴露により急性中毒の肺疾患により被災、12月26日死亡した。3-クロロ-1,1,2,3,3-ペンタフルオロ-1-プロペンの有害性は不明であるが、肺への急性毒性が記された一部文献が存在する。
12	12月	その他の土石 製品製造業 (010909)	男	19	作業員・ 技能者	7ヶ月	はさま れ、巻き 込まれ	コンベア	コンクリートガラの再生砕石設備において、コンベアで運ばれるコンクリートガラに混ざったゴミを取り除く作業を4人で行っていた。17時20分に設備が停止したため確認したところ、上記4人の内の1人である被災者がコンベア最下部のローラーに巻き込まれ右腕が切断された状況であった。すぐに病院に搬送したが、20時過ぎに死亡した。

平成22年 死亡災害発生の概要（建設業）

平成22年12月31日
大阪労働局 労働基準部 安全課

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経験	事故の型	起因物	発生状況
1	1月	電気通信工事業(030301)	男	45	電工	20年	飛来、落下	その他の用具	コンテナバースのマンホール内において、電源ケーブル(6600V、約42Φ)の引き込み作業中、隣接するマンホールから入れた電源ケーブルをウィンチで引き出していたところ、マンホール内壁に設置した滑車の取付金具が突然破損し、マンホール内で滑車の状態を監視していた被災者の顔面を滑車が直撃した。
2	2月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業(030201)	男	44	とび工	23年	墜落、転落	開口部	建物7階仮設エレベーター開口部で、仮設エレベーターのジャバラゲート取替作業中、被災者がジャバラゲート取付用単管パイプのクランプを取り外していた際、バランスを崩し、7階床から3階床レベルに停止中の仮設エレベーター屋根部に墜落した。
3	4月	道路建設工事業(030106)	男	31	はつり工	1ヶ月	墜落、転落	建築物、構築物	高速道路の橋脚上端付近で橋桁連結部分のさび取り及び補修作業を終え、現場から離れようとしたところ、2次下請会社の労働者が約9mの川に墜落した。
4	4月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業(030201)	男	50	土工	4年	感電	アーク溶接装置	工事現場において、被災者が作業中に突然うめき声をあげ倒れた。倒れた被災者の傍らには通電中のアーク溶接用ホルダーが落ちていた。
5	5月	その他の建築工事業(030209)	男	61	作業員	30年	激突され	整地・運搬積込用機械	中型貨物自動車の後部で荷下ろし作業中、後退してきたトラクターシュベルとの間にはさまれた。
6	6月	その他の建築工事業(030209)	男	44	作業員	4年	墜落、転落	足場	同僚が解体したセットバック部の外部足場解体材を外部足場(枠組み足場)10段目より荷下ろししていた。エンドストッパーを下しているとき、直下箇所にある一部取り外した状態の垂直ネットに当該材料が引っかかった。その状況を屋上で材料の運搬作業を行っていた被災者が手伝おうとして、荷下ろし箇所にあがってきた。(外部足場10段目)その際に体のバランスを崩し、荷下ろし箇所より墜落した。
7	6月	電気通信工事業(030301)	男	64	造園工	4年	はさまれ、巻き込まれ	高所作業車	午前中の作業を終え、被災者の同僚が高所作業車を運転し、道路脇に駐車した。同僚が、駐車ブレーキをかけ、車止めをするため、降りたところ、車両が勾配に沿って走り出した。被災者は、車両と道路の路肩の法面に挟まれた。道路の勾配は、車両の進行方向に向かって約5度下がっていた。
8	6月	その他の建築工事業(030209)	男	48	解体工	10年	はさまれ、巻き込まれ	掘削用機械	被災者は、現場においてドラグショベルを運転し、解体作業を行っていた。被災者が、運転席から、アーム側に身を乗り出したところ降りてきたアームと運転席の壁に胸部を挟まれた。運転席のアーム側の窓ガラスが破損していた。
9	6月	その他の建設工事業-その他(030309)	男	33	建設業	2年	感電	研削盤、パフ盤	被災者は2階にある男子用トイレの窓枠を撤去するため、建屋の外部足場上で可搬式グラインダを使用して窓枠の切断作業を行っていた。被災者の横で同様の作業をしていた他の労働者が被災者の「痛い」という声を聞いて確認したところ、被災者は外壁にある耐震プレスにもたれかかった状態となっていた。
10	8月	橋梁建設工事業-その他(030105)	男	44	とび工	19年	飛来、落下	荷	橋梁のつり足場用部材(単管5m×8本合計重量108kg)を橋脚上の仮資材置き場(高さ約28m)へ運ぶため、ベビーホイスト(定格加重180kg)のフックにワイヤロープを2本かけて部材をつり上げていたところ、高さ27mぐらいのところで荷崩れし、被災者の頭部に単管が落下した。

平成22年 死亡災害発生の概要（建設業）

平成22年12月31日
大阪労働局 労働基準部 安全課

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経験	事故の型	起因物	発生状況
11	8月	その他の建設工事業—その他(030309)	男	20	とび工	3年	墜落、転落	その他の建設物、建築物	組立中の足場7層目(高さ約13m)に、朝顔(落下防止柵)を設置中、支持用の単管に足場板のつかみ金具をはめ込むため、その足場板に体重をかけて押し込んでいたところ、何らかの原因で足場板が外れ、足場板とともに地上まで墜落した。
12	8月	その他の建設工事業—その他(030309)	男	57	解体工	7年	墜落、転落	屋根・はりもや・けた合掌	平屋建ての長屋リフォーム工事において、屋根の撤去を行うため、屋根上で瓦を取り外し、瓦の下に敷いていた板等を地上に落としていたところ、屋根の端部から地上まで2.8m墜落した。
13	8月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業(030201)	男	43	作業員	25年	墜落、転落	屋根・はりもや・けた合掌	鉄骨造1階建て工場のスレート葺屋根上(高さ6.5m)において、スレート板と梁を固定しているフックを切断する作業を行っていたところ、スレート板を踏み抜いてコンクリート土間に墜落した。
14	8月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業(030201)	男	38	土工	5年	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	災害発生当日は、被災者を含む4名で、9階スラブコンクリート打設作業を行っていた。打設作業が終了したため、4名は地上へ移動するが、被災者を除く3名は内部階段で移動した。被災者が戻ってこないのので、代表者が携帯電話で被災者を呼び出すも応答がなかった。その着信音に気づいた別会社の作業員が、外部足場の2層目架設階段部に上向けて倒れている被災者を発見した。
15	11月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業(030201)	男	50	土工	0年	崩壊、倒壊	地山、岩石	下水管の布設作業中に発生した災害。被災者が、幅1m、長さ4m、深さ2.5mに亘って掘削された箇所に入り込んだところ、土砂が崩壊し被災した。土留めは行われていなかった。被災者は床ならしのため、掘削箇所に入り込んだものと思われる。
16	12月	その他の建築工事業(030209)	男	31	とび工	15年	墜落、転落	足場	マンション外壁改修工事にて枠組足場解体作業をしていた被災者が取り外した簡易鳥居枠(W=600mm)を両手で持って解体足場最上層(9層目:地上高さ約15m)を移動していたところ、何らかの原因でバランスを崩して鳥居枠とともに地上へ墜落した。
17	12月	建築設備工事業(030203)	男	55	その他作業員	26年	墜落、転落	はしご等	被災者が建屋(4階がセットバック)の屋上ペントハウス上にある看板(東面)の点検を行うため、3階屋上から看板までに設置された丸太足場に移動はしご(脚立を広げたもの)を掛け、脚立を左肩に抱えて4階屋上まで昇っていた時、移動はしごが東側に倒れたため、被災者は屋上のパラペット(高さ35cm)を超えて、抱えていた脚立と共に約11.5m下まで落下した。
18	12月	その他の建築工事業(030209)	男	23	とび工	4年	墜落、転落	足場	マンション外壁修繕工事の足場解体作業中に、鳶工が枠組足場の16層目に乗って直上の17層目の布板を取り外した際にバランスを崩し、取り外した布板もろとも外側に墜落し、一旦、自転車置場の屋根でバウンドし、地上へ墜落した。地上から16層目の作業床までの高さは、27m70cmであった。

平成22年 死亡災害発生の概要（運輸業）

平成22年12月31日
大阪労働局 労働基準部 安全課

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経験	事故の型	起因物	発生状況
1	2月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	56	貨物自動車運転者	38年	交通事故 (道路)	トラック	国道にて、被災者は15t車を運転し緩やかなカーブにさしかかった際、センターラインをはみ出した。その時ブレーキをかけたが間に合わず対向車の大型トラックと正面衝突をした。
2	5月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	41	運転者	10年	交通事故 (道路)	トラック	大型トラックが国道交差点で信号待ちをしていたダンプトラックに追突し、さらに押し出されたダンプトラックが大型トラックに衝突した。最初に追突した大型のトラックの運転手が死亡した。
3	5月	港湾荷役業 (050202)	男	43	その他の荷役運搬機械運転者	20年	激突され	ストラドルキャリア	別の会社の労働者が運転するストラドルキャリアが、停止していた被災者の運転するストラドルキャリアに激突し、被災者が運転していたストラドルキャリアが横転し、運転席が地面と激突したことにより被災者が全身を強打した。
4	7月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	66	運転者	23年	その他	起因物なし	トラックを運転し、配送先に向かう途中、意識不明となり死亡した。
5	7月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	23	貨物自動車運転者	2年	交通事故 (道路)	トラック	被災者の運転する冷蔵冷凍車(最大積載量2100kg)がパーキングエリアに進入しようと減速した大型トラックに追突した。
6	7月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	54	運転者	4年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	工場の労働者が出勤したところ、運送会社所属の被災者が、フォークリフトの前面パネルに立ち上がり、マストと運転席の屋根の間に胸部を挟まれて死亡しているのが発見された。
7	8月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	47	その他関連作業員	18年	転倒	分類不能	午前7時30分頃、構内の燃料スタンド近くで仰向けで倒れていた被災者が発見され、病院まで救急車により搬送されたが、2日後に死亡した。
8	9月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	72	作業員	50年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	屋根の雨漏り補修のため、ビニルシートを敷設する作業を、フォークリフトを使用して行っている際、エンジンをかけたままの状態、被災者が、運転席からパレット上に乗り移ろうとして、足を踏み外し、テイルレバーを踏みこんだため、マストが後ろに傾斜し、マストとヘッドガードの間に挟まれた。
9	9月	航空業 (040103)	男	47	運転者	19年	交通事故 (その他)	その他の乗物	被災者はヘリコプターで橋の基礎部の補強工事に使う資材や機材の運搬の為、資材置き場と現場を往復していたが、現場に霧がかかっていたために資材を降ろさず、資材置き場に戻る途中に墜落した。災害発生時、資材(自然石・2.4t)はワイヤーロープを用いてヘリコプ
10	10月	一般貨物自動車運送事業 (040301)	男	50	貨物自動車運転者	10年	交通事故 (道路)	トラック	13tトラックで、登坂車線を走行中に、本線路肩に違法駐車していたトレーラーに衝突し、運転していたトラックのキャビンが潰れて車内に閉じこめられ、搬送先の病院で死亡が確認された。
11	11月	陸上貨物取扱業 (050101)	男	69	作業員・技能者	48年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	被災者は倉庫においてロールクランプを運転する労働者2名の積み込み作業の作業指揮をおこなっていたところ、バック走行してきたロールクランプに接触したことから、転倒し、コンクリート床面に頭を強打した。
12	11月	一般貨物自動車運送業 (040301)	男	38	移動式クレーン運転者	8年	崩壊、倒壊	金属材料	被災者は単管約60本の束(長さ2.5~4m)を移動式クレーン(2.9t)の荷台に積み込むため、無線操作しつり上げて旋回したところ、荷が傾き落下し、移動式クレーンにもたれかかる状態となった。被災者はもたれかかった荷を地面に下ろすため玉掛け用ワイヤーロープを外し、再度玉掛けを行っていたところ荷が倒れ、荷と共に荷台より墜落し、荷と地面に頭を挟まれた状態となり死亡した。

平成22年 死亡災害発生の概要 (その他)

平成22年12月31日
大阪労働局 労働基準部 安全課

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経験	事故の型	起因物	発生状況
1	1月	新聞販売業 (080205)	女	59	配達員	30年	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク	自転車で新聞配達をしていた被災者が、道路交差点を横断していたところ、ワンボックスカーにはねられ全身を強打した。
2	1月	警備業 (170201)	男	52	警備員	11年	その他	起因物なし	火災現場において同僚に歩み寄ろうとして突然倒れた。
3	3月	倉庫業(080401)	男	46	作業員・技能者	1年	墜落、転落	建築物、 構築物	倉庫内3階の中二階で、荷物の数量チェックをしていたところ、高さ約2.8mの3階の中二階の作業床の端から、3階床面に墜落し頭部を強打した。
4	3月	その他の保健衛生業—その他 (130309)	男	40	技術者	19年	その他	起因物なし	業務過多となり、下旬にうつ病エピソード(F32)を発病。事務所倉庫内で首つり自殺を図り死亡した。なお、発病前1か月間の時間外労働時間は95時間28分であった。
5	3月	その他の小売業 (080209)	男	41	管理者	22年	その他	起因物なし	平成22年3月11日午後10時30分ごろ自宅にて頭痛を訴え倒れ(くも膜下出血)、3月18日死亡した。
6	4月	その他の事業— その他(170209)	男	59	その他の職種	10年	交通事故 (道路)	トラック	営業を終え帰社途中、バイパス下り車線で自損事故を起こし、自車から離れて通報行為をおこなっていたところ、後方より進行してきた大型貨物自動車に追突し、その反動で自車の後部と道路側壁にはさまれた。
7	4月	その他の事業 (170209)	男	44	技術者	26年	墜落、転落	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等	雨よけのために設けられた軒状の張り出したテント地でできた屋根(高さ5.6m)の縁付近から、転落した。
8	5月	その他の卸売業 (080109)	男	50	営業・販売 関連事務員	3年	墜落、転落	その他の 仮設物、 建築物、 構築物等	婦人バック等の製造卸を営む事業場の倉庫においてクロスサポーターにより積み上げていた段ボール箱に入った商品を取ろうとしてコンテナをよじ登っていたところ墜落した。
9	5月	農業 (060101)	男	36	作業員・技能者	17年	墜落、転落	立木等	ゴルフ場において立木の剪定作業を行っていた被災者が木に立てかけた脚立を使って幹を登り、枝に移動しようとして墜落した。
10	6月	警備業 (170201)	男	70	作業員	13年	墜落、転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	体育館において、被災者は天井裏の雨漏りの点検等を行うため、作業通路にある鉄骨梁(幅約4cm)を伝って、天井ボードにおいてあった水の入ったバケツを取ろうとしたところ、足を滑らせ鉄骨梁下の天井ボードを突き破り、約13メートル下まで墜落した。
11	6月	警備業 (170201)	男	70	警備員	2年	交通事故(道路)	乗用車、バス、 バイク	飲食店の駐車場への車両誘導中、誘導した車両の後続車両にはねられた。
12	6月	畜産業(070101)	男	22	作業員	1年	交通事故(道路)	乗用車、バス、 バイク	配布したチラシを回収するため自動2輪車で移動中転倒し、体が対抗車線にはみ出し、対抗してきた普通乗用車に激突した。

13	7月	その他の小売業(080209)	男	42	作業者・技能者	20年	破裂	その他の用具	被災者が、ダンプトラックの後輪タイヤ(直径1m、重さ100kg)のパック修理を行った後、修理済みの当該タイヤをダンプトラック本体に取り付けようとした際に、当該タイヤの内部チューブが破裂し、被災者がタイヤもろとも風圧により飛ばされ、地面に激突した。
14	7月	新聞販売業(080205)	女	60	配達員	7年	交通事故(道路)	人力運搬機	新聞代集金業務のため、被災者が自転車で急勾配の坂を下っているときに人家の塀に激突した。
15	7月	新聞販売業(080205)	女	55	配達員	25年	交通事故(道路)	トラック	新聞配達中、対向車線をはみ出して運転していた会社員の軽トラックと正面衝突し、死亡したものである。
16	8月	ビルメンテナンス業(150101)	男	64	警備員	6年	転倒	通路	平成22年8月24日午前7時頃、意識不明の状態では保安室の仮眠室において被災者が倒れているのが発見され、同年9月4日に死亡した。
17	9月	ビルメンテナンス業(150101)	女	71	作業者・技能者	27年	交通事故(道路)	トラック	交差点で、横断歩道を自転車で横断していたところ、左折してきた大型トラックに巻き込まれ、搬送先の病院で死亡した。
18	10月	警備業(170201)	男	69	警備員	1年	交通事故(道路)	トラック	下水管埋設、舗装復旧工事において、警備員(69歳)が掘削車両の運搬車の誘導のために国道の一般通行車両を待機させていたところ、誘導員の後方にいた大型トラックにひかれて、死亡した。
19	11月	産業廃棄物処理業(150102)	男	64	作業者・技能者	5年	墜落、転落	はしご等	被災者は、折り畳んで立て掛けた脚立の天板(高さ1.40m)の上に立って、3段積みの1番上にある廃ペットボトルが詰められたフレキシブルコンテナバッグ(高さ2.74m)の投入口を、吊りベルトで縛る作業をしていた際に墜落した。
20	11月	その他の事業(170209)	男	55	その他の職種	0	交通事故(道路)	トラック	交通調査員として2人一組、2時間交替で調査を行っていた。17時に業務を交替し、待機中コンビニに買い物に行き戻る途中で後ろからきたトラックにはねられた。
21	12月	警備業(170201)	男	56	その他の職種	3年	激突され	締固め用機械	歩行者の誘導を行っていた警備員が、バックしてきた路盤転圧作業中のコンパインローラーにひかれて死亡した。

平成22年フォークリフト災害発生状況

1	1月	製鉄・製鋼・圧延業 (011001)	男	19	金属熱処理工	1ヶ月	飛来、落下	フォークリフト	コイル形状の鋼線材を焼鈍する行程において、外側に膨らんだコイル材を炉内に納まる寸法に整形するため、当該コイル材を圧縮機で加圧し、さらに上方からフォークリフトのラム（円柱状のアタッチメント）に目通しした別のコイル材（重量約1.8t）を上下させて外側に膨らんだ線材を絞めていたところ、コイル材がフォークのラムから外れ、付近で研修を受けていた被災者の上に落下した。
2	7月	一般貨物自動車運送事業(040301)	男	54	運転者	4年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	工場の労働者が出勤したところ、運送会社所属の被災者が、フォークリフトの前面パネルに立ち上がり、マストと運転席の屋根の間に胸部を挟まれて死亡しているのが発見された。
3	9月	一般貨物自動車運送事業(040301)	男	72	作業員	50年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	屋根の雨漏り補修のため、ビニルシートを敷設する作業を、フォークリフトを使用して行っている際、エンジンをかけたままの状態、被災者が、運転席からパレット上に移ろうとして、足を踏み外し、ティルトレバーを踏みこんだため、マストが後ろに傾斜し、マストとヘッドガードの間に挟まれた。
4	10月	金属プレス製品製造業 (011203)	男	40	板金工	12年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	被災者は、リーチフォークリフト（最大積載荷重1.8トン）を用いて垂鉛鉄板を梱包した荷（重さ2トン）を運搬していたが、リフトの後輪にうつ伏せで下敷きとなっている状態で発見された。発見時、荷はバラバラになっており、フォークの先端が地面に突き刺さった後があり、リフトが前のめりになった後、元に戻ったことが推測された。
5	11月	陸上貨物取扱業 (050101)	男	69	作業員・技能者	48年	激突され	フォークリフト	被災者は倉庫においてロールクランプを運転する労働者2名の積み込み作業の作業指揮をおこなっていたところ、バック走行してきたロールクランプに接触したことから、転倒し、コンクリート床面に頭を強打した。
6	12月	その他の金属製品製造業 (011209)	男	39	金属加工・金属製品検査工	6年	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	鍛造プレス（1000トン）の上部を清掃するため、フォークリフトのアタッチメントの上に乗る、アタッチメントを上昇中、フォークリフトが前進し、テルハのフレーム（Iビーム）とフォークリフトのバックレストとの間に腰部が挟まれた。